町民の笑顔を絶やさない町づくり

大紀町
町勢要覧

TAIKI TOWN 2022

町民の笑顔を絶やさない町づくり

大紀町長
服部 吉人

平成17年2月14日に旧「大宮町」「紀勢町」「大内山村」の2町1村が合併し、長年親しんできた旧町村名を後世に残す意味で「大」と「紀」の文字を取り入れるとともに、大内山川や宮川など大きな川のイメージと、紀州の玄関口となって大きく発展していくことを願って「大紀町」と名付けられ、海と山と川の幸に恵まれ、美しい自然に囲まれた風光明媚な地で、四季折々の彩りが楽しめる町になりました。

大紀町は三重県の中南部に位置し、総面積233.32平方キロメートルのうち約91％を山林が占め、地形は全般に急峻で、町内を流れる一級河川の宮川、大内山川、藤川沿いに民家と耕地が散在する農山村部と、僅かな土地に民家が集中する海岸部から成る典型的な農山漁村地域です。

比較的温暖な気候ではありますが、降水量は多めで、特に梅雨時期や台風シーズン、秋雨時期に多量の降水量があり、停滞前線等の影響を受けやすい地域と言えます。

人口は令和3年12月末現在で7,875人となり、毎年約1％ずつ減少しておりますが、今後は、美しい自然、長い年月で受け継がれてきた伝統文化・歴史、地域を支えてきた産業など、大紀町の魅力を将来につなぐため「町民の笑顔を絶やさない町づくり」を町民の皆様とともに進め、高齢者・少子化・子育て支援対策や医療・福祉、移住定住、地域産業への支援、防災対策、教育の充実やデジタル化社会への対応に取り組んでまいります。

この町勢要覧では、現在の町の様子やこれからの取り組みをたくさんの皆様にお伝えし、より多くの皆様にご高覧いただき、大紀町を深くご理解いただければ幸いかと存じます。

Contents

4ページ　特集

未来に向けての取り組み

- 町民総意の町づくり
- 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町づくり
- 地域イベントの継承・強化及び支援の拡充
- 地域・地元産業・町役場の連携強化
- 産業・生活環境等の高齢化社会対策とインフラ整備の促進

6ページ　地域の魅力

大紀町のにぎわい・交流拠点

- 観光
- 特産品
- 自然
- 文化
- 祭

12ページ　まちづくり

主な政策

- 高齢者対策
- 少子化・子育て支援対策
- 医療・福祉
- 移住定住
- 防災対策
- 産業
- 鳥獣害対策
- 教育
- 人物
- DX（デジタル・トランスフォーメーション）

16ページ　町の沿革

大紀町のあゆみ

18ページ　町のデータ

三重県 大紀町

- 基本データ
- アクセス

特集
TAIKI TOWN 2022

未来に向けての取り組み

1 町民総意の町づくり

足腰の強い大紀町にする為に、地域や企業、各種団体とコミュニケーションをとり、町政に反映できる事業の取り組みについて議論の場を設けます。

また、各地区単位で地域の課題（災害時の対応・介護予防対策・感染症対策等）に取り組んでいただける要望があれば、財政面や情報共有について積極的に支援を検討いたします。

2 子どもからお年寄りまで安心して暮らせる町づくり

子育て対策

エンゼル手当等の支給を行うとともに、学力向上と生きる力を育むことを目的としたITの活用やオンライン授業も視野に入れ、教育環境の整備、体験活動の充実に努めます。

社会福祉対策

現在運行中のCバス（コミュニティバス）を利用者のニーズに合わせ、より利用しやすい運営をしたいと考えており、障害者の方々についても安心して暮らせるよう支援していきます。

また、高齢者世帯を対象とした、ICT※を活用した見守り【安否確認・介護申請・日用品・食料品の購入】の実現など、使いやすい通信機器等を利用し、商工会・伊勢農協・社会福祉協議会との連携により手厚く、効率の良いシステムの構築を目指します。

※ICT…インターネットを利用した情報技術

3 地域イベントの継承・強化及び支援の拡充

地域の区長会・町内会などのコミュニティ組織が中心となり、伝統芸能や地域イベントを掘り起こし、後世に伝承していく手だてを地域の皆様と考え、それに必要な経費等の後方支援を検討します。

また、伊勢神宮内宮の別宮である「瀧原宮」周辺の環境整備をはじめ、町内の観光施設の活用と観光振興の取り組みによる地域の活性化を図ります。

4 地域・地元産業・町役場の連携強化

大紀町商工会・伊勢農業協同組合・三重外湾漁業協同組合錦事業所・大内山酪農農業協同組合・大内山川漁業協同組合・大紀森林組合・七保和牛部会・地元商店・中小事業所等の各事業所がどうすれば事業強化が図れるか、行政と一丸となって問題提起し、より良い事業運営・経営ができるよう連携強化を図ります。

5 産業・生活環境等の高齢化社会対策とインフラ整備の促進

農林水産部門

後継者の育成をはじめ、老朽化が進んでいる農業用水路・頭首工の改修を重点的に行うとともに、獣害対策では、獣の侵入路の遮断や、捕獲のための罠仕掛人(狩猟免許の取得)の増員を図る啓発活動を行い、猟友会員の育成強化、また、それに伴う費用負担の軽減などの支援策を検討します。

また、水産業施設では、錦第2魚市場の老朽化施設の改修を進め、漁業の活性化を推進します。

環境部門

空き家バンクで活用されていない家屋など、危険性のある家屋の取り壊し費用の支援策に積極的に取り組みます。

防災部門

地震・風水害に対応すべく自主防災の強化を推進するとともに、津波対策により現在進められている防潮堤工事につきましては、錦タワー、第2錦タワーを含め30ケ所の避難所が整備され、奥川河川の堤防嵩上工事、湾外の防波堤工事が順調に進められている現状を踏まえ、学識経験者等や町民の皆様の意見を聴き、その方向性を決めていきます。

地域の魅力
TAIKI TOWN 2022

大紀町のにぎわい・交流拠点

観光

キャンプ、海水浴、サイクリング、ハイキング、トレッキング、フィッシング、ショッピング…！
大紀町は自然や歴史とふれあいながら休日を楽しめるアイテムがいっぱいです！

錦向井ヶ浜トロピカルガーデン

町内唯一の海水浴場。南国情緒あふれるフェニックスと白浜のビーチ、海上ハウス、木製遊具、プール、休憩所があり、浜辺にはバーベキューサイトも隣接しています。

トロピカルハウスではウォーキングプールや施設周辺にはゆっくり散策できる近畿自然歩道が整備されており、錦地区の海も山も楽しめる拠点観光施設です。

道の駅「奥伊勢木つつ木館」

木の柔らかな感触とぬくもり、こころやすまる憩いの道の駅です。

伊勢神宮内宮の別宮「瀧原宮」の門前にある、木と人とのふれあいの空間としての機能を持つ施設で、木工芸品、インテリア、住宅用製材品などの展示販売や地域特産品の販売、大紀町の名物グルメの提供を行っています。館内は「木の匠」・「木つつ木茶屋」・「木つつ木市場」の３つのコーナーに分かれており、瀧原宮参拝時の荷物の一時預かりも行っています。

たいちゃん
和牛の七保牛（松阪牛）をベースに川をイメージしたシャツを着ています。

きーちゃん
大内山の乳牛をベースに海をイメージしたシャツを着ています。

大紀町観光キャラクター「たいちゃん・きーちゃん」

とても愛くるしい2頭が着ているシャツの「T」と「K」は、「たいちゃん」と「きーちゃん」の頭文字です。

阿曽湯の里 阿曽温泉

豊かな緑の風景にたたずみ、旧阿曽小学校の校舎をそのまま利用した「阿曽湯の里」は、天然温泉の「阿曽温泉」、地元食材を使った「あすなろ食堂」、農産物などの直売施設「四季の店旬彩」、「交流体験室」などがあるふれあい総合施設です。

阿曽温泉の泉質は、あたたかくまろやかで、ドライブやハイキング・日々の疲れを優しく包み込んでくれます。校舎の懐かしさを感じながら、心行くまで寛いでください。

山海の郷紀勢

錦地区の新鮮な海産物、大内山酪農の牛乳・アイスクリームなどの乳製品をメイン商品とした、地元特産品がならぶ直売施設です。旅の休憩やお土産のお求めに気軽にご利用いただけます。

毎月第２・４日曜日に開催される朝市では、地元の生産者が育てた新鮮野菜や手作りパンが販売されます。

滝原ふれあいの里公園

大滝峡キャンプ場から近く、熊野古道の沿線に隣接したこの公園には、テニスコートや遊具、トイレなどが整備されており、また、町内で国民文化祭が行われた時の入賞作品のオブジェ展示が行われています。

キャンプで滞在中にはテニスを楽しみ、熊野古道巡りでは休憩の場。地元の子どもたちには遊び場として、楽しみ方も多種多様です。

おおみや青少年旅行村（大滝峡キャンプ場）

大内山川の絶景のロケーションが広がる大滝峡に隣接するキャンプ場。ケビン、ログハウスのバンガロー、広いテントサイト、自炊棟が整備されているので、人気のアウトドアを気軽に思う存分楽しめます。場内には Wi-Fi も完備されており、ワーケーションでの利用も可能となりました。

季節によっては、春は名所となっているサクラ、秋の紅葉や初夏のホタル観賞も楽しめます。

大内山動物園

山々の緑に囲まれ、木を基調にした綺麗な園内で、全国的にも珍しい個人経営の動物園として知られています。

見ごたえのある大型動物のほか、サル・ウサギ・アヒル・小鳥等の子どもたちに人気のある小動物や、ポニーと遊べる広場もあり、家族連れで賑わっています。特に動物へのエサやりはとても人気があります。

七保牛（松阪牛）

伊勢茶

しいたけ

特産品

高級和牛「松阪牛」として販売される「七保牛」、「大内山牛乳」でおなじみの酪農製品、県下有数の水揚げを誇る「錦のブリ」をはじめとした活きの良い新鮮な海産物、香り豊かな「伊勢茶」、大内山川の「鮎」など、海・山・川からの自然の恵みがたっぷりの自慢の特産品です!

錦のブリ

大内山牛乳・乳製品

タイ養殖・加工品

海産物

鮎

役場柏崎支所前の枝垂れ桜

野原公園の藤

大平つつじ山

自然

サクラ・ツツジ・フジなどの春を代表する花々や、美しい緑・紅葉など、四季折々の風景が楽しめます。また、笠木渓谷の雄滝・雌滝、大内山川の大滝峡、南亦山・七洞岳・姫越山などのそびえ立つ山々、雄大に広がる熊野灘など、自然が創り出した地形で成り立つ優雅な光景も大紀町の魅力です。

網掛山の紅葉

笠木渓谷の雄滝

大紀町のにぎわい・交流拠点

瀧原宮（たきはらのみや）・瀧原並宮（たきはらならびのみや）

瀧原宮・瀧原並宮は、ともに皇大神宮（伊勢神宮内宮）の別宮で、昔から「大神の遙宮」といわれています。御祭神はいずれも「天照坐皇大御神御魂」で、両宮とも同じ御敷地に御殿を並べて鎮座されており、伊勢神宮と同様に20年毎に「式年遷宮※」が行われます。

※式年遷宮（しきねんせんぐう）とは

1300年続く式年遷宮は伊勢神宮と同様に20年に一度実施され、「お木曳」や「お白石持ち」など地元挙げての行事が斎行されます。常に瑞々しさを保つために古例のままに社殿をはじめ全てを新しくして、大御神が新宮へ遷る神宮最大のお祭りで、前回は伊勢神宮の式年遷宮の翌年「平成26年」に「第62回式年遷宮」が古式のままに行われました。

頭之宮四方神社（こうべのみやよもうじんじゃ）

文化

一部が世界遺産に登録されている熊野古道、伊勢神宮内宮の別宮である瀧原宮をはじめとする神社仏閣、縄文時代から残されている樋ノ谷遺跡を代表とした遺跡など、それぞれの地域で長い時間をかけて人々や自然が造り上げた文化財を脈々と現代に受け継ぎ守られています。

樋ノ谷遺跡

世界遺産 熊野古道伊勢路

古来より先人たちが歩んだ巡礼の道で、「ツヅラト峠」「荷坂峠」は平成16年にユネスコ世界遺産に登録されています。かつて伊勢と紀伊の国境であったツヅラト峠は、伊勢から熊野を目指す旅人が初めて熊野灘を目にした峠で、また、江戸時代以降は東寄りの荷坂峠が紀州の玄関口となり、昭和の初め頃まで生活道として使われていました。

大紀町の熊野古道コース

- ツヅラト峠コース
- 荷坂峠コース
- 三瀬坂峠コース

ツヅラト峠

野原大神楽 1月初旬

町の無形文化財「野原大神楽」は、伊勢神宮の雅楽を源流とする四日市阿倉川神楽を受け継ぎ、江戸時代中期に野原地区に伝わったとされています。昭和48年に地元の青年が中心となり保存会を結成し、町内の行事への出演や福祉施設への慰問、毎年正月には各家庭を回って無病息災を祈願する「門舞」と一般に舞いを披露する「寄せ舞」が行われています。

八幡祭 1月初旬

1月の初めに錦神社の例祭で最も盛大に行われる八幡祭は、熊野灘に面する錦地区で一年の大漁祈願と平安無事を願う江戸時代を源とする歴史ある貴重な伝統行事です。「宵宮・団子はたき」「道中の手踊り」「団子祷・魚祷の山車」「祈祷・お祓い・弓引き・舞」が毎年行われています。

祭

古くから受け継がれてきた伝統行事も、グルメや季節のものをPRする観光イベントも、大紀町の魅力を求めて人々が集い、地域を元気にさせる大切な役割を持っています。

その他の主な祭

- 赤船祭（2月）
- 錦ぶりまつり（3月下旬）
- 大平つつじ山まつり（4月下旬）
- おんべまつり（7月）
- 錦花火大会（8月）
- 大紀ふれあいまつり（10～11月）

えっとうえっさ（精霊踊り） 8月中旬

戦いに敗れた軍勢の魂を慰めるためのものであったといわれるまつり。のぼり旗を持った男たちが「えっとうえっさ！えっとうえっさ！」と叫びながら櫓や太鼓の周りを練回る勇壮な踊りは、戦国時代の武将たちが戦場を駆け抜けているような迫力で、全国でも類を見ない珍しいものです。

瀧原宮大祭 10月下旬

毎年10月下旬に瀧原宮周辺では「秋の大祭」が地元運営委員会によって行われています。近年は、その年に収穫された稲穂を奉納する初穂曳やバザー・ステージイベントなどが行われ、普段はひっそりとした静けさを保つこの地域がとても賑わいます。

まちづくり
TAIKI TOWN 2022

主な政策

高齢者対策

超高齢化を視野に入れ、高齢者世帯を対象に使いやすい通信機器を利用し、インターネット技術を活用した見守りや日常生活の支援など、便利で安心して暮らせる手厚く効率の良いシステムを各種団体との連携により構築できるよう取り組みます。

Cバス

少子化・子育て支援対策

新生児から15歳児及び中学校卒業児の保護者、また、妊婦の出産前の健診等に係る通院費等の一部を支給するエンゼル手当や、保育料無償化を実施し、生まれる前から子育て世代を応援します。

保育園

医療・福祉

新生児から18歳までの病気やケガに対する医療費の全額を助成するベアーズ助成金。ねたきり高齢者を在宅介護する家族へのドリーム手当など、大紀町独自の取り組みを行い、安心して暮らせる社会づくりを目指していきます。

各種検診

移住定住

田舎暮らし希望者向けに大紀町の暮らしを体験していただくツアーを計画し、都市部においても、大紀町の情報を提供する移住相談会を開催します。

町ホームページでは空き家情報を提供しており、生活の拠点となる住居探しに役立てていただきます。

一次産業分野の担い手の確保、事業・技術の継承、商品開発や市場開拓、また、歴史・文化・商工・観光などの分野で地域の特色を活かした地域振興事業を目的として公共性の高い事業所や団体等に地域おこし協力隊を町で採用し派遣します。

移住体験ツアー

防災対策

突然起きる台風や豪雨による風水害に対しては、住民全員に早めの避難行動を促し安全を図るとともに、大地震を想定した避難訓練は、繰り返し実施することにより常に人々の脳裏から危機感が薄れることなく日頃から有事の際の行動にすぐ対応できるよう備え、自主防災の強化を推進し、人々の命を最優先に防災対策に取り組みます。

防災訓練

錦タワー

第2錦タワー

消防団

避難所

産業

古くから大紀町を発展させ町民の生活を支えてきた農林水産業や、町の活性化になくてはならない商工業に加え、都市部からの交流人口を創り出し町を活気づける観光産業など、関係団体や事業所と連携強化を図り、行政と一体となって問題を提起し、より良い事業運営が展開されるよう環境整備も含めて課題に取り組みます。

酪農業

畜産業

水産業

農業

林業

鳥獣害対策

鳥獣害による生産者の経済的及び精神的な負担を軽減させるために、獣の進入路の遮断や捕獲のための狩猟免許取得者の増員を図り、それに伴う費用負担の軽減対策、猟友会の活動強化・支援に取り組みます。

防護柵の設置

害獣の捕獲

教育

自然豊かな大紀町は、少子化が進む中、既に町立学校の統廃合事業が行われており、現在４つの小学校と２つの中学校で教育の運営を行っています。誰もが登校しやすく保護者の経済負担も少なくするため、小中学校給食費の補助制度や高等学校通学費の補助などの支援を行っており、より過ごしやすい学校生活環境を作り出し、大紀町の教育に満足していただけるよう取り組みます。

大紀中学校

大紀小学校

錦小学校

大宮中学校

大宮小学校

七保小学校

人物

大瀬 東作（おおせ とうさく）

明治18(1885)年～昭和13(1938)年

大正７年、34 歳で七保村長に就任。当時、小学校の教員の俸給負担は、そのほとんどが地方公共団体に負わされており、財政力の貧弱な町村では財政の半分が教育費で占められるほどであった。

大瀬氏は、この窮状を打開するため、全国の町村長に一致結束して国に働きかけることを呼びかけ、大正 10 年２月、全国町村長会が誕生した。立役者の大瀬氏は副会長に選ばれた。

大瀬東作資料館

旧七保第一小学校跡を活用して、東作が実際に使用していたものを中心に、展示などでご紹介しています。

DX

デジタル・トランスフォーメーション

急速に進むデジタル化社会に遅れることなく、将来を見据えて住民の生活、町全体のあらゆる物事の効率化が向上し、経済や社会、暮らしがより発展するよう、各分野においてそれぞれ DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進し、様々な考案を行い、デジタル技術の導入による根本的な変革に率先して取り組みます。

町の沿革
TAIKI TOWN 2022

大紀町のあゆみ

2005年（平成17年）

2月14日　大宮町・紀勢町・大内山村が合併し「大紀町」が誕生
3月13日　初代町長に柏木廣文氏が就任
7月17日　阿曽温泉がオープン

オープンした阿曽温泉

2006年（平成18年）

3月 4日　国道260号線　錦峠が開通
11日　紀勢自動車道　勢和多気JCT～大宮大台IC間が開通
4月12日　エコミュージアムセンター 宮川流域交流館たいきがオープン
16日　第62回神宮式年遷宮　瀧原宮お木曳が行われる

国道260号線 錦峠開通式

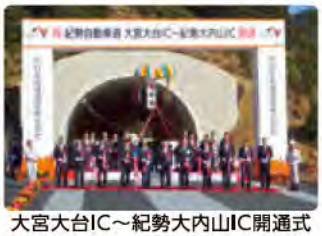
2007年（平成19年）

4月 1日　大内山支所がいきいきプラザ内に移転
大紀町防災行政無線（同報系）運用開始

完成した大宮保育園

2008年（平成20年）

2月 5日　大紀町観光キャラクターが「たいちゃん」と「きーちゃん」に決定
3月29日　大宮保育園竣工
5月18日　四季の店「旬彩」がオープン
9月 5日　大内山小学校校舎耐震補強・大規模改修工事完成


大宮大台IC～紀勢大内山IC開通式

2009年（平成21年）

2月 7日　紀勢自動車道　大宮大台IC～紀勢大内山IC間が開通
3月13日　谷口友見氏が町長に就任（以後３期在任）
4月 1日　エンゼル手当が拡充される
7日　柏崎小学校・大内山小学校が統合し大紀小学校が開校
柏崎中学校・錦中学校・大内山中学校が統合し大紀中学校が開校
7月　「人の命は何よりも大事　子どもは町の宝
お年寄りは町の誇り」を町是として掲げる

ななほ保育園竣工式

2010年（平成22年）

2月27日　ななほ保育園竣工
7月 6日　七保支所・柏崎支所竣工
11月21日　第1回大紀ふれあいまつりin七保が行われ、以降町内6地域で持ち回り、毎年開催される

日本赤十字社へ東日本大震災義援金を寄託

2011年（平成23年）

3月 3日　町の花「ツツジ」・町の木「ウバメガシ」・町の鳥「メジロ」・町の魚「ブリ」に決定
6月~7月　3月11日に発生した東日本大震災の被災地へ職員を派遣
7月22日　第1回防災町民会議全体会議を開催
9月2日~4日　紀伊半島大水害の被害を受ける
5日　役場庁舎分室が完成し窓口業務を開始
8日　紀伊半島大水害の被災地である紀宝町へ職員を派遣
11月12日　錦に山岳救助訓練施設、災害救助用ヘリポートが完成し、三重県・大紀町合同防災訓練を実施

紀伊半島大水害の被災地へ職員派遣

2012年（平成24年）

2月 5日　金輪橋が開通
3月30日　山の神津波避難所完成
4月　給水車（10トン）が配備される
7月　各小中学校に緊急地震速報装置、避難路等を整備
8月29日　県防災航空隊・紀勢消防山岳隊の合同訓練を実施
10月12日　錦地区夜間津波避難訓練が行われ、以降毎年実施される

金輪橋竣工式

2013年（平成25年）

4月12日　第2錦タワー竣工
10月30日　全国町村会政務調査会行政委員会が錦地区の防災減災事業を視察

第2錦タワー竣工式

2014年（平成26年）

1月 8日　新三重総合博物館への昆虫標本寄贈式「蝶々の嫁入り」が行われる
4月25日　名古屋南紀高速バス路線が変更され、紀勢大内山インター前バス停留所が新設される
7月 7日　熊野古道世界遺産登録10周年
10月26日　第62回神宮式年遷宮　瀧原宮お白石持行事が行われる

瀧原宮お白石持行事

2015年（平成27年）

2月14日　町制施行10周年
3月21日　大台厚生病院竣工
5月 9日　合併10周年を祝う記念式典
合併10周年記念トーテムポールを各地区で製作・設置
6月28日　大紀町・大台町・南伊勢町3町消防団合同訓練を実施
本庁・錦支所・大内山支所に太陽光パネル・蓄電池を設置

錦向井ヶ浜遊パーク東屋

2016年（平成28年）

3月27日　若瀬橋が開通
5月 9日　4月14日に発生した熊本地震の被災地である熊本県嘉島町と御船町へ、職員総勢46名を派遣（～6月4日まで）
26･27日　伊勢志摩サミット開催
9月11日　金輪集会所竣工

熊本地震の被災地へ職員派遣

2017年（平成29年）

7月　大内山B&Gプールに観客席を設置
10月30日～　台風の大雨による浸水被害を受けた玉城町へ職員を派遣
11月26日　松阪肉牛共進会で大紀町生産者が上位3席を占める

観客席が設置された大内山B&Gプール

2018年（平成30年）

危機管理型水位計を町内河川に設置
11月25日　松阪肉牛共進会で大紀町生産者が2年連続の優秀賞1席を含む上位5席の内4席を占める

松阪肉牛共進会 3年連続優秀賞1席

2019年（平成31年）（令和元年）

5月 1日　平成から令和へ改元
8月11日　野原集会所竣工
11月24日　松阪肉牛共進会で大紀町生産者が3年連続の優秀賞1席を含む上位5席の内4席を占める

2020年（令和2年）

新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行
1月　町内主要箇所に防犯カメラ設置
11月14日　阿曽集会所竣工

完成した阿曽集会所

2021年（令和3年）

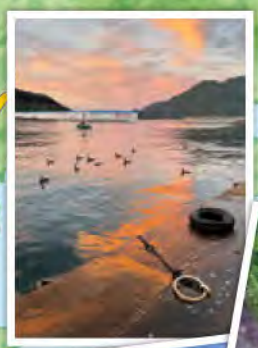
3月10日　神原地区 樋ノ谷遺跡の竪穴式住居を再復元
3月13日　服部吉人町長就任
4月～　防災行政無線デジタル化に伴う個別受信機を更新
4月 8日　東京オリンピック聖火リレーが滝原地区で行われる
5月 9日～　新型コロナワクチン集団接種・個別接種はじまる
7月～　役場窓口業務時間延長と夜間・休日の証明書発行業務サービスを開始

東京オリンピック聖火リレー

町のデータ
TAIKI TOWN 2022

三重県 大紀町（たいき）

大紀町は、平成17年2月14日2町1村が合併して誕生しました。
町内のほぼ全域が奥伊勢宮川峡県立公園に指定され、山・海・川が織り成す自然が美しい風光明媚な地域として知られています。



伊勢自動車道　玉城IC　至 伊勢西IC

宮川

町の花鳥木魚

町の花
ツツジ

町の木
ウバメガシ

町の鳥
メジロ

町の川の魚
アユ

町の魚
ブリ

基本データ

三重県の中南部にあります。

- **距　離**　東西約 24.8㎞
  南北約 26.3㎞
- **総面積**　233.32㎢
- **人　口**　7,875 人
  （男 3,764 人・女 4,111 人）
- **世帯数**　3,890 世帯

※令和 3 年 12 月末現在

大紀町の町章

大紀町の「た」を図案化し、赤色は太陽、水色は川や海を、緑色は山や里の自然ゆたかな情景を表しています。全体的にはそこに住む人々の躍動と町の繁栄を力強く形にしたものです。

アクセス

自動車でお越しの場合

名古屋方面から　約 1 時間 30 分

名古屋西 IC（東名阪自動車道）→（伊勢自動車道）→勢和多気 JCT（紀勢自動車道）→大宮大台 IC →紀勢大内山 IC

大阪方面から　約 2 時間

西名阪自動車道→天理料金所→（名阪国道）→関 IC →伊勢関 IC（伊勢自動車道）→勢和多気 JCT（紀勢自動車道）→大宮大台 IC →紀勢大内山 IC

公共交通機関でお越しの場合

名古屋方面から

- **バス利用**　三重交通名古屋南紀高速バス
- **鉄道利用**　名古屋駅（近鉄・JR）→松阪駅（JR紀勢本線・三重交通熊野古道ライン）→大紀町

大阪方面から

鶴橋駅（近鉄）→松阪駅（JR紀勢本線・三重交通熊野古道ライン）→大紀町

※本図は三重県へのアクセスを概念的に表記したものであり、位置関係等は実際と相違する場合があります。

大紀町町勢要覧2022

発行年月　令和4年1月
発　　行　三重県大紀町　〒519-2703　三重県度会郡大紀町滝原1610-1
TEL 0598-86-2212　FAX 0598-84-8568　URL http://www.town.taiki.mie.jp/
編　　集　大紀町役場 総務企画課